

平成 29 年度 事業報告書

社会福祉法人 西伊豆町社会福祉協議会

平成 29 年度事業報告

【総 括】

平成 29 年度事業計画に基づき、「地域包括ケアシステム」の構築に向け、地域福祉を担う人材を養成するとともに、地域における介護予防事業の推進に努めた。

要援護者等の権利を擁護する「成年後見事業」や認知症予防を目的とした「頭の健康教室」など新規事業を実施した。

地域包括支援センターが開催した「地域リハビリテーション連絡会」においては、保健、医療、福祉及び介護の専門職が連携し、住民とともに行う介護予防事業としてラジオ体操を推奨し、地域で取り組めるようトライアル（試行）事業を実施した。

【重点目標】 （平成 29 年度事業計画より）

1 地域福祉を行う人づくり

(1) 地域包括ケアシステムの実現に向け、地域福祉を担う人材の育成に努めた。

（主な事業と評価）

事業名	評 価
夏休み中学生ボランティア体験活動 福祉教育の推進	ボランティア活動や福祉施設等での体験から、福祉活動を啓発した。
成年後見事業・市民後見人養成講座 （賀茂圏域社協の共催）	制度の利用促進のため受講対象者を推薦し、養成講座の開催に協力した。
認知症サポーター養成講座（包括）	サポーター人数の増加、組織的支援を図った。
認知症普及活動検討会（包括）	認知症の方を支える人材養成について検討した。

2 地域福祉の仕組みづくり

(1) 地域福祉を実践する仕組みづくりに努めた。

（主な事業と評価）

事業名	評 価
ボランティア活動の推進	ボランティア保険の加入を助成、活動を促した
成年後見事業の実施	専門職、関係機関と連携し、事業を実施した。
日常生活自立支援事業 生活困窮者自立支援事業	多機関協働により、相談援助、福祉サービス利用援助などの支援を行った。
介護予防リーダー活用事業（包括）	地域の介護予防リーダーをサロン等に派遣した。

3 地域福祉の基盤づくり

(1) 住民と多様な機関、組織が繋がる地域福祉の基盤づくりに努めた。

（主な事業と評価）

事業名	評 価
地域リハビリテーション連絡会（包括）	専門職連携の組織作り、地域リハビリテーションの実施に向けた事業を検討、実施した。
第 13 回西伊豆町社会福祉大会	地域福祉推進を決意する機会として開催した。

【実施事業】

1 社会福祉協議会の基盤強化

(1) 組織の強化

学識経験者や福祉団体等の代表者による協議体を組織し、理事会、評議員会を開催した。管理統制（ガバナンス）強化のため、監査等は法令に基づき実施した。

[理事会の開催]

会議名/開催日	出席者数	主な議題
第1回理事会/ 平成29年4月5日	理事 13名 監事 2名	正副会長の選任 評議員候補者の推薦 他
第2回理事会/ 平成29年5月31日	理事 11名 監事 1名	平成28年度事業報告 平成28年度収支決算 他
第3回理事会/ 平成29年6月26日	理事 11名 監事 2名	正副会長の選任 経理規程の改正
第4回理事会/ 平成29年9月22日	理事 13名 監事 2名	社会福祉大会・ふれあい広場の開催 社協会費の集金・共同募金の実施 他
第5回理事会/ 平成30年3月22日	理事 13名 監事 2名	平成29年度補正予算 平成30年度事業計画（案） 他

[評議員会の開催]

会議名/開催日	出席者数	主な議題
定時評議員会/ 平成29年6月21日	評議員 21名 会長 監事 2名	平成28年度事業報告・収支決算 平成29年度補正予算 他
第1回評議員会/ 平成29年9月22日	評議員 23名 会長	社会福祉大会・ふれあい広場の開催 社協会費の集金・共同募金の実施 他
第2回評議員会/ 平成30年3月30日	評議員 22名 会長	平成29年度補正予算 平成30年度事業計画（案） 他

[監査等の実施]

監査・検査名/実施日	出席者数	監査・検査内容
町社協監事監査/ 平成29年5月22日	町社協監事 2名 会長	法人管理、運営状況、経理処理、 決算内容 他
町補助団体監査/ 平成29年6月29日	町監査委員 2名 会長	運営状況、補助金等の執行状況 他
県社福法人指導監査/ 平成29年10月6日	県担当職員 2名 会長	法人管理、運営状況、経理処理、 決算内容、法令遵守状況 他
介護保険業務管理検査/ 平成29年10月19日	県担当職員 2名 事業所管理者	指定介護事業所の業務管理 他/
町社協定期監査/ 平成29年12月15日	監事 2名	法人管理、運営状況、経理処理 他

[評議員の選定]

会議名/開催日	出席者数	主な議題
評議員選定委員会/ 平成 29 年 4 月 6 日	委員 3 名	評議員 9 名の選定

(2) 福祉人材の養成・確保

福祉サービスに対する需要の増大・多様化が見込まれ、利用者本位の質の高い福祉サービスの提供が求められることから、介護予防事業を支援するボランティアなど福祉人材の養成・確保を行った。

(3) 財源基盤の強化

地域福祉事業の貴重な財源である会費・寄付金について、適正な収受を行うため集金方法等を検討し実施した。

[会費額]

区 分	世帯・件数	金 額
普通会費	2,860 世帯	1,430,000 円
賛助会費（法人・個人）	112 件	520,000 円
合計額		1,950,000 円

[寄付額]

区 分	件数	金 額
一般寄付	15 件	372,545 円
物品寄付	車椅子 1 件	現金換算 34,000 円
合計額	16 件	406,545 円

(4) 役職員研修

静岡県社会福祉協議会等の研修へ積極的に参加し、内部研修で伝達、役職員の資質向上に努めた。

[主な研修内容]

研修名/開催日	出席者	場 所	主催者
市町社協監事研修/ 平成 29 年 4 月 19 日	監事 2 名	シズウェル (県社協)	県社協
成年後見制度相談員研修会/ 平成 29 年 7 月 10 日	事務局長	道の駅開国 下田みなと	下田市社協
市町社協会計実務者研修会 平成 29 年 7 月 20 日	総務主任	シズウェル (県社協)	県社協
認定調査員現任研修 平成 29 年 11 月 1 日～2 日	ケアマネ 4 名		静岡県
生活支援体制整備事業視察研修 平成 29 年 12 月 5 日	会長 事務局長	小山町社協	郡社協

[内部（伝達）研修・会議]

開催日	会議名	参加者	主催者
毎週火曜日	ケアマネ会議	ケアマネ4名	町社協
月1回	ホームヘルパー会議	訪問介護員	町社協

2 広報・啓発活動の推進

(1) 広報誌の発行

社協だよりを発行し事業の周知や報告をした。

発行名	発効日	掲載内容
社協だより第31号	平成29年9月15日	平成28年度事業報告 他
社協だより第32号	平成30年2月1日	社会福祉大会・ふれあい広場 他

(2) ホームページによる周知

ホームページ (<http://www.shakyo.or.jp/hp/1013/>) を活用し、現況報告書や社協だよりを掲載し、法人の財務状況、事業の周知や報告をした。

(3) 第13回西伊豆町社会福祉大会

住民相互の助け合いによる地域福祉の向上を図るため、決意を新たにする機会として開催した。

開催日 平成29年10月21日（土）13時から

会 場 西伊豆町中央公民館

表 彰 社会福祉功労表彰 個人2名

講 演 「元気な心で、元気な毎日」

講 師 株式会社エンパワーコミュニケーション 代表取締役 鎌田敏 氏

来場者 約100人

(4) 第13回西伊豆町ふれあい広場

福祉関係団体との連携や世代間交流により、多くの方に福祉活動の理解と参加を促す目的で開催した。

開催日 平成29年11月23日（木）10時から

会 場 西伊豆町役場駐車場・健康増進センター 他

来場者 約500人

3 福祉総合相談事業

(1) 日常生活自立支援事業（静岡県社会福祉協議会・委託事業）

高齢者、障がい者等判断能力が低下している方に、福祉サービスの利用援助や日常的な金銭管理などの支援を行った。

利用者数	利用回数	支援内容
1名	32回	月3回、生活費の出金、手続き等の補助

(2) 成年後見事業（西伊豆町・委託事業）

社協が法定後見人等（成年後見人・保佐人・補助人）となって、本人の権利や財産を保護し生活を支援する。

受任者数	成年後見事業審査会	受任内容	現 状
1 名	平成 30 年 2 月 7 日	法人後見	家裁審判中

(3) 地域生活支援センター巡回相談（こころの健康相談）

精神保健福祉士による専門相談を実施した。

回 数	相談件数
11 回	12 件

(4) 善意銀行（町社協・緊急小口貸付）

緊急、一時的に必要なとされる生活費の貸付けを行った。

貸付件数	貸付金額	償還件数	償還金額
22 件	532,500 円	52 件	423,690

(5) 生活福祉資金貸付制度（静岡県社会福祉協議会・委託事業）

障害者・低所得世帯等の相談受付、申請手続きの支援等を行った。

既貸付	新規貸付	償還完了	貸付元金	償還残額
3 件	0 件	1 件	2,460,000 円	1,798,840 円

(6) 生活困窮者自立支援事業（静岡県・委託事業）

① 自立相談支援事業

生活困窮者の相談に広く対応し、生活及び就労等に関する問題の解決を図るための支援並びに、各種支援制度の利用について関係機関との連絡・調整を行った。

相談件数	支援プラン作成数	就労者数
15 件	8 件	3 件

② 学習支援事業「こども学習アシスト教室・まなびば」

勉強の仕方、子供の居場所づくりを図るため、学習支援員（元教員）や協力員（主任児童委員）、ボランティアの協力により開催した。

期 間	場 所	回 数	利用者数
平成 30 年 2 月 1 日 ～ 3 月 15 日	西伊豆町賀茂健康センター 松崎町総合福祉センター	8 回	延べ 38 人

(7) 民生委員・児童委員協議会との連携、協働

民生委員・児童委員協議会と情報を共有し、支援活動を協働して行った。

4 地域福祉活動推進事業

(1) ボランティア活動の推進

ボランティア団体の相談に応じるとともにボランティア活動保険の助成をした。

加入者数	助成金額
364 人	140,150 円

(2) 西伊豆町災害ボランティアコーディネーター連絡会との連携

災害ボランティアコーディネーター連絡会と連携し防災活動や訓練に協力した。

開催日	事業名	会場
平成 29 年 5 月 21 日	平成 29 年度総会 災害 V 本部立上げ訓練	住民防災センター
平成 29 年 12 月 3 日～24 日	「My 防災マップづくり」 町歩き、マップ検証	西伊豆町沿岸の地区
平成 30 年 1 月 13 日～14 日	賀茂圏域災害 VC 養成講座 (VC:災害ボランティアコーディネーター)	下田総合庁舎
平成 30 年 2 月 24 日	救急講習	福祉センター
平成 30 年 3 月 4 日	避難所運営研修会	住民防災センター

(3) 夏休み中学生ボランティア体験活動

中学生が夏休み期間中にボランティア体験活動ができるように教育委員会と連携し活動先の紹介や募集を行った。

受入れ施設数	11 施設	延べ活動者数	103 名
--------	-------	--------	-------

(4) 福祉教育の推進

学校の要請により職員の派遣または生徒の受入れを行い、福祉教育の推進に努めた。

開催日	内 容	対象者
平成 29 年 6 月 30 日	福祉について	賀茂中 1 年生
10 月 5 日	体験学習	賀茂中 1 年生

(5) 小・中学生交流事業「寺子屋」

夏休み期間、中学生が小学生に勉強を教える他レクリエーションなど交流を図った。

開催日	場 所	参加人数
平成 29 年 8 月 1 日・2 日 7 日（8 日は台風により中止）	住民防災センター	延べ 109 人

(6) 子育て支援事業

① 節分祝い

各幼稚園で、社協役員と豆まきを行った。

開催日	場 所
平成 30 年 2 月 2 日	町内幼稚園及び保育園

② 子育て講座「アレルギーについて」

子どものアレルギー症状等について学んだ。

開催日	場 所	参加者数
平成 29 年 9 月 21 日	賀茂健康センター	22 名

③ 賀茂健康センターの開放

センター 1 階訓練室を開放し、バスの待ち時間など子供の居場所を提供した。

開放日及び時間	内 容	延べ利用者数
月・水・金（14 時～15 時）	勉強・カプラ遊び他	0 名

(7) 高齢者生きがい活動事業（西伊豆町・委託事業）

高齢者の健康増進と交流を目的に開催し、老人クラブの会員による主体的な運営がされるようになった。

開催日	事業名	場 所
平成 29 年 6 月 16 日	輪投げ大会	健康増進センター
選挙により中止	高齢者スポーツ大会	
10 月 26 日	ゲートボール大会	旧田子中学校

(8) 敬老の日等の支援事業（西伊豆町・委託事業）

各地区で実施される敬老の日・子供の日・七五三祝い事業の賄い費を交付した。

交付日	事業名	対象者数	実績額
平成 29 年 5 月 2 日	子供の日祝い事業	395 人	592,500 円
9 月 8 日	敬老の日祝い事業	3,104 人	4,966,400 円
11 月 15 日	七五三祝い事業	38 人	57,000 円

(9) 福祉団体等の活動支援

福祉団体等の主体的な活動を促進するため運営及び事務等の支援を行った。

5 在宅福祉推進事業

(1) 福祉車両等の貸出事業

緊急、一時的に車椅子搭載車両等が必要になった場合の貸出しを行った。

種 別	貸出回数
福祉車輛（車椅子搭載車両）	14 回
車椅子	41 回
特殊寝台	3 回
ポータブルトイレ他	6 回

(2) 生きがいデイサービス事業（西伊豆町・委託事業）

高齢者の生きがいづくりと介護予防を目的に実施した。

期 間	回 数	延べ利用人員
平成 29 年 4 月～平成 30 年 3 月	200 回	2,680 人

(3) 通所型介護予防事業「運動機能向上教室」(西伊豆町・委託事業)

理学療法士が個々の運動メニューを指導し、高齢者の転倒予防を目的に開催した。

期 間	回 数	延べ利用人員
第1クール(7月10日) ～第3クール(3月12日)	18回	289人
フォローアップ教室	3回	39人

(4) 通所型介護予防事業「頭の健康倶楽部」(西伊豆町・委託事業)

物忘れ等不安を感じている方を対象に、認知症予防を目的に開催した。

期 間	回 数	延べ利用人員
第1クール(7月12日) ～第2クール(12月13日)	12回	113人

(5) 地区サロンの開催協力「ウェルシアサロン」

ウェルシア西伊豆仁科店のカフェスペースを利用し、近隣の方々が集うサロンの開催に協力した。

開催回数	内 容
17回	健康体操、レクリエーションなど

6 地域包括支援センターにしいず(西伊豆町・委託事業)

(1) 総合相談支援事業

高齢者の生活・介護などの困りごとについて相談を受け、個々の高齢者にどのような支援が必要かを判断し、地域における適切なサービス、福祉・医療関係機関などにつなぐ支援を行った。

相談方法	延べ相談件数	相談内容	延べ相談件数
来 所	48件	介護保険・介護相談	128件
電 話	50件	保健・福祉サービス	5件
訪 問	52件	虐 待	7件
その他	11件	権利擁護	8件
		その他	13件
合 計	161件	合 計	161件

(2) 権利擁護事業

成年後見制度など権利擁護に関するサービスの相談、高齢者の虐待防止や消費者被害の相談に応じた。

相談内容	虐 待	成年後見	消費者被害	困難事例
件 数	7件	12件	1件	0件

(3) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

包括的・継続的ケアマネジメント支援を実践するため、介護支援専門員への助言、相談に応じ、福祉・医療の関係者と連携した高齢者支援の体制を図った。

介護支援専門員への相談・助言指導 (ケアマネ)	窓 口	61 件
	電 話	12 件
	同行訪問	2 件
ケアマネ研修（更新・研修等）		5 件
地域多職種連携・地域づくり		40 件
合 計		120 件

(4) 介護予防ケアマネジメント事業

要支援１・２の方に対する「予防給付」、要介護・要支援状態になる恐れがある方に対するケアプラン（介護予防サービス・支援計画）を作成し、サービスの評価（効果測定）等を行う。

介護予防給付		介護予防ケアマネジメント給付	
直営分	委託分	直営分	委託分
540 件	169 件	214 件	141 件

(5) 一般高齢者介護予防事業

① 元気はつらつ栄養教室

高齢者の栄養機能の維持や向上を図る普及啓発を行った。

開催日	内容	参加者数	場所
平成 29 年 10 月 4 日	講話「健康につながる食事」	3 名	福祉センター
10 月 11 日	グループワーク	4 名	保健センター
10 月 20 日	調理実習、試食会	7 名	保健センター

(6) 一般高齢者向け普及啓発事業

① 介護者のつどい

介護者のストレス軽減及び情報交換の場として開催した。

開催日	場所	参加者数	内容
5 月 24 日	安良里・宝市場	9 名	座談会・会食
10 月 18 日	保健センター	8 名	お薬講座（安良里薬局）
11 月 17 日	箱根周辺	11 名	交流、散策

② 介護予防教室

高齢者の健康維持及び介護予防を目的に開催した。

開催日	場所	参加者数	内容
6 月 11 日	大田子防災センター	34 名	熱中症の予防について
6 月 22 日	柴公民館	33 名	熱中症の予防について
11 月 20 日	寄り場まつもと	12 名	熱中症の予防について
2 月 22 日	宮ヶ原公民館	23 名	介護予防について 他

③ 介護予防リーダー活用事業

介護予防リーダーを派遣し、地域の介護予防活動の推進を図った。

開催日	対象者・団体名	場 所	参加者数	派遣人員
6月11日	大田子さくら会	大田子防災センター	34名	2名
7月11日	月原喜楽会	月原公民館	14名	2名
9月19日	月原喜楽会	月原公民館	17名	4名
11月14日	月原喜楽会	月原公民館	17名	3名

④ 介護・健康相談会

健康維持や介護についての相談を受けた。

開催日	イベント名	場 所	参加者数	内容
11月23日	ふれあい広場 あたまの元気相談	健康増進センター	142名	認知症初期診断 あたまの元気度

⑤ 認知症サポーター養成講座

認知症についての理解を深めた。

開催日	対象者・団体名	場 所	参加者数
5月24日	介護予防リーダー	福祉センター	9名
7月12日	仁科女性会	福祉センター	12名
9月13日	田子小5年・6年生	田子小学校	24名
11月8日	祢宜の畑サロン	祢宜の畑公民館	15名

⑥ 認知症普及活動検討会

認知症への理解を深め、住民が地域で支援を行うための研修や人材育成を行った。

検討委員：合同会社ヒストリア代表、介護保険係職員、包括職員			
開催日	内 容	場 所	
5月9日	認知症サポーターステップアップ研修	保健センター	
10月3日	今後の研修方法についての検討	福祉センター	
10月24日	研修資料の確認、修正、研修の流れ	福祉センター	
11月29日	資料作成、トライアルプログラム検討	福祉センター	
2月1日	研修実施調整	福祉センター	
2月14日	研修実施調整、次年度計画	包括事務所	
2月27日	認知症普及啓発研修会	福祉センター	
3月7日	研修内容の検証	福祉センター	

(7) 介護予防活動支援事業

① キャラバンメイト連絡会

認知症サポーター養成講座の講師となるキャラバンメイトの資質向上を図った。

開催日	内 容	参加者数	場 所
5月16日	昨年度事業の検証	10名	福祉センター
10月24日	中間報告 他	12名	福祉センター

② 高齢者サロン支援

各地区で実施している高齢者サロンの運営に関わる助言・指導を行った。

開催日	組織名	場 所	参加者数	内 容
4月26日	まつもとサロン	寄り場まつもと	12名	活動状況確認
4月27日	まつぼっくりサロン	大浜公民館	23名	活動状況確認
4月28日	宮ヶ原遊風会	宮ヶ原 GG 場	15名	活動状況確認
4月28日	高齢者サロン連絡会	福祉センター	15名	実施報告
5月10日	祢宜の畑サロン	祢宜の畑公民館	10名	活動状況確認

③ 介護予防リーダー連絡会

地域における介護予防事業の推進や活動内容の検討を行った。

月 日	場 所	参加者数	内 容
5月8日	福祉センター	10名	活動報告、活動計画、研修会 他
5月24日	福祉センター	10名	フォローアップ研修
3月8日	福祉センター	6名	活動報告、活動計画、活動費

④ 地域活動者支援事業

地域活動する個人、団体との情報交換を行い、地域活動の推進を図った。

月 日	場 所	参加者数	内 容
6月12日	福祉センター	27名	趣旨説明、情報交換、グループワーク
12月7日	安良里宝市場	12名	活動報告、事業説明 他

⑤ 地域活動サロン「ほっこりサロン」の開催

地域活動の情報交換の場として、毎月16日にウェルシア西伊豆仁科店のカフェスペースにて開催した。

開催回数	内 容
10回	情報共有、活動検討、介護相談、血圧測定 他

(8) 包括的・継続的ケアマネジメント・機関連携

① 事業所連絡会

町内介護保険サービス事業所の連携及び職員の資質向上を図った。

講師：身延山大学仏教学部福祉学科 准教授 檜木 博之 氏

開催日	場 所	参加者数	内 容
5月 2日	福祉センター	18名	地域ケア会議の必要性について ケアマネ、事業者に求められること

② ケアマネ研修会

地域のケアマネジャーの支援及び連携を図った。

講師：身延山大学仏教学部福祉学科 准教授 榎木 博之 氏

開催日	場所	参加者数	内容
9月14日	福祉センター	13名	事例検討の講義
11月20日	福祉センター	13名	事例検討
1月30日	福祉センター	14名	事例検討
3月19日	福祉センター	14名	事例検討

③ 地域リハビリテーション連絡会（全体会・リーダー会議）

地域におけるリハビリテーションの役割を確認し、専門職連携を図った

（全体会・リーダー会議）

開催日	場所	参加者数	内容
6月27日	福祉センター	24名	（全体会）趣旨説明、グループワーク
10月25日	福祉センター	12名	（リーダー会議）各班からの状況説明 介護予防トライアル事業について
12月12日	福祉センター	19名	（全体会）活動報告、提案 グループワーク
1月24日	福祉センター	12名	（リーダー会議） 介護予防トライアル事業について
2月13日	福祉センター	17名	（全体会） ラジオ体操トライアル中間報告 活動報告、次年度の活動計画について
3月6日	福祉センター	8名	（リーダー会議）活動報告 次年度の体制について

（検討部会）

班	開催回数	参加者数	内容
1班	4回	延べ18名	介護予防の目標設定、データ分析
2班	6回	延べ41名	評価項目の検討 介護予防プログラムの検討 トライアル事業の検討と準備
3班	8回	延べ29名	介護予防の人材育成・プログラムの検討 ラジオ体操トライアルの検討 トライアルスケジュール作成
4班	4回	延べ20名	広報活動、情報発信、広報記事等の検討
2班3班	1回	10名	介護予防トライアル事業の実施について
2班4班	1回	8名	介護予防トライアル事業の周知について

(4) 実態把握訪問

65 歳以上の独居高齢者世帯を対象とし、生活状況や身体状況を訪問調査した。

地 区	宇久須	安良里	田 子	仁 科
回 数	6	1	13	17

(5) 職員研修

専門職としての知識、技術を養うため、下記の研修を受講した。

[主な研修内容]

研修名/開催日	出席者	場 所
ケアマネットふじのくに研修会 /平成 29 年 7 月 30 日	主任ケアマネ 看護師	浜松市
CSW 養成研修受講者連絡会 /平成 29 年 10 月 11 日	センター長 (社会福祉士)	掛川市
認知症初期集中支援チーム員研修会 /平成 29 年 7 月 20 日	主任ケアマネ 看護師	東京都
介護サービス事業者説明会 /平成 29 年 10 月 11 日	センター長 (社会福祉士)	沼津市
成年後見制度利用促進セミナー /平成 29 年 12 月 15 日	センター長 (社会福祉士)	静岡市

7 共同募金運動の推進

(1) 赤い羽根共同募金及び歳末助け合い募金の実施

共同募金運営委員会を設置し、赤い羽根共同募金運動及び歳末助け合い募金運動を推進、地域福祉活動の貴重な財源である事を周知した。

区 分	世帯・件数	金 額
一般募金	2,756 世帯	1,653,600 円
特別募金・その他の募金	248 件	643,516 円
合計額		2,297,116 円

(2) 共同募金助成事業

① 静岡県共同募金会からの助成金を受け、地域福祉事業や団体活動へ助成した。

事業名	総事業費	共同募金助成金分
社協だより発行	145,571 円	145,571 円
福祉大会費	987,588 円	409,996 円
各種団体活動助成 (10 団体)	431,931 円	431,931 円
小中学生交流事業	15,752 円	15,752 円
子育て支援事業	114,604 円	84,339 円
ボランティア支援事業	418,531 円	157,150 円
合 計	2,113,977 円	1,244,739 円

- ② 歳末たすけあい募金配分委員会を開催し、低所得世帯、障害者世帯、施設入者等への慰問を実施した。

区 分	人員/世帯	配分額
町内在宅者	58人/42世帯	461,000円
施設等入所者	73人	219,000円
合 計		680,000円

8 介護保険事業

(1) 訪問介護事業（ホームヘルプサービス）

介護保険認定高齢者宅へホームヘルパーを派遣し、利用者本人が自分らしく在宅での生活がおくれるよう支援した。

	平成 29 年度実績	平成 28 年度実績
延べ利用者数	719 名	804 名
利用料合計	32,638,470 円	36,773,631 円

(2) 居宅介護支援事業（ケアプラン作成事業）

ケアマネージャーが利用者の心身の状態をアセスメントし、必要な介護保険サービスが利用できるようにケアプラン及び予防ケアプランを作成した。

	平成 29 年度実績	平成 28 年度実績
介護延べ利用者数	919 名	980 名
介護利用料合計	15,163,580 円	16,303,220 円
介護予防延べ利用者数	46 名	24 名
介護利用料合計	179,200 円	91,200 円

9 障害福祉サービス事業

(1) 居宅介護事業

在宅で生活する障害者宅へホームヘルパーを派遣し、利用者本人が自分らしく在宅での生活がおくれるよう支援した。

	平成 29 年度実績	平成 28 年度実績
延べ利用者数	93 名	96 名
利用料合計	3,629,540 円	3,240,840 円

※ 事業報告付属明細書
該当なし